香美市議会議員選挙

新議員25人が決定

香美市が誕生して初めての市議会議員選挙が9月3日に告示され、32人が立候補しました。

9月10日に市内85カ所の投票所で投票が行われ、午後9時30分から行われた開票の結果、25人の新議員が決まりました。

なお、最後の1議席をめぐっては2人の候補者の得票数が同数となり、公職選挙法に基づき、選挙会で選挙長がくじを引いて当選者が決定されました。

平成十八年九月十日　香美市議会議員選挙　開票結果

投票者数	
	17,864人
男	7,994人
女	9,870人

投票率	
	72.01%
男	69.79%
女	73.92%

	候補者	得票数
当	前田　泰祐	798票
当	矢野　公昭	758票
当	織田　秀幸	729票
当	竹平　豊久	725票
当	小松　紀夫	715票
当	竹内　俊夫	698票
当	比与森光俊	692票
当	山崎龍太郎	668・462票
当	門脇二三夫	663票
当	依光美代子	662票
当	大岸　眞弓	645票
当	西山　武	640票
当	中澤　愛水	621票
当	山本　芳男	614票
当	片岡　守春	605票
当	山崎　晃子	592・181票
当	坂本　節	584票
当	黒岩　徹	532票
当	石川　彰宏	518票
当	西村　芳成	515票
当	島岡　信彦	506票
当	千頭　洋一	485票
当	久保　信彦	478票
当	大石　綏子	458票
当	有元　和哉	448票
	山岡　義一	448票
	利根　健二	436票
	岩越　孝明	426票
	山﨑　眞幹	368・356票
	渡辺　良彦	307票
	明石　敏夫	280票
	岡西　滋夫	98票
	※無効票	151票

地域間格差のない活力ある香美市を

前　田　泰　祐

(62歳・土佐山田町繁藤)

厳しい財政状況とはいえ、住民サービスの低下は絶対あってはならない。活性化対策として、地場産業にはできる限りの支援をすると同時に、企業誘致にも全力を注ぎ、就労の場の確保につとめ、定住人口の増加をはかることが活力の原点だと考えている。災害対策の一環として、緊急事態発生時には、どこの集落にも緊急車両が容易に進入できる道路が必要であり、連絡道整備に力を注ぎたい。

市民の生の声を行政に

織　田　秀　幸
（56歳・土佐山田町百石町）

合併により、広大な中山間地域を擁する香美市が誕生しました。この美しい香美市を守り発展させるには、基幹産業である農業、林業の活性化をはじめ、少子高齢化がもたらすあらゆる問題に対し、市民の皆さまと共に考え語り合い解決に向け取り組んでまいります。一人ひとりの声は小さいことのように見えますが、この積み重ねが必ず地域社会を変え、政治や行政の姿勢を正し、やがては国政も変えていくと強く確信し頑張ってまいります。

活気のある香美市にするためには

矢　野　公　昭
（59歳・土佐山田町神通寺）

今の香美市にはまちに活気がありません。その原因の一つは若者が少ないことです。若者が定住できるまちづくり、これが活気ある香美市とするために重要であります。それには安心して子育てのできる職場とその環境を整えることが大事であり、若者が増え、子どもが増える。それはまたお年寄りが安心して暮らせることにもつながります。その他多くの課題につきましても私は誠心誠意をもって市民の皆さまの声を聞きながら活気のある香美市、住民参加の行政を目指します。

市政の主役は住民の皆さん

小　松　紀　夫
（43歳・香北町美良布）

「市政の主役は住民の皆さん」という基本姿勢で、さまざまな課題に取り組みます。特に高齢化率の高い当市の対応として、地域の高齢者をその地域の住民が見守り支えていく体制を推進します。また、「まちづくりは人づくり」の観点から、将来の香美市を担う子どもたちの教育環境の充実に取り組みます。そして、議会本来の使命であります行政に対する批判監視、チェック機能を強化し、安心して生活できるまちづくりを目指します。

安心と希望の街づくりを目指して

竹　平　豊　久
（57歳・物部町久保高井）

香美市のグランドイメージである「街、里、山、それぞれの地域特性を活かし、均衡ある発展を目指す」ことを念頭に、この基本行政運営がブレることのないよう、行政が担当する全事業分野について、その政策を注視する姿勢と、同時に高齢化の進行や財政の厳しさが増す中では、常に市民の目線に即した市政運営がはかられるよう政策提言につとめ、安心と希望の持てる香美市につながる活動を目指します。

市民の声を大切に現場第一主義で

比与森　光　俊
（54歳・土佐山田町西本町）

この度の市議選では、多くの皆さまに支援していただき心より感謝申し上げます。

私は、自身の政治信条であります「政治家は庶民の声に耳を澄ませ」との詩人のことばを心肝に染め、真剣で誠実な言動に努めてまいります。衰退する商店街の活性化や山間地域の皆さまの声にも耳を傾け、山積みする難題に全力で取り組んでまいります。市民の皆さまが、安心して暮らせるまちづくり。住んで良かった香美市建設を目指し全力で頑張ってまいります。

市が発展するよう誠心誠意取り組む

竹　内　俊　夫
（62歳・香北町五百蔵）

３期９年の経験と実績をもとに、基幹産業である農業、林業と地場産業の振興をはかり、若者の定住につとめます。

また、市民の皆さまの声を、願いを大切にし、市民の皆さまの幸せと香美市の将来構想である「輝き、やすらぎ、賑わいをみんなで築くまちづくり」を推進し、香美市が発展するよう誠心誠意取り組んでまいります。

人と自然が調和する街づくり

門　脇　二三夫
(57歳・物部町神池)

物部川源流域の山々は、その保水力を失いつつあり、流水量は以前に比べ毎秒1トン減少していますし、雨も災害の発生しやすい降りかたとなっています。

このため、国分川を含めた源流域の山々の早急な手入れが必要です。

山を守り、川を守ることが暮らしを守ることにつながると考えており、この事業実施に向け努力します。

また、山間地域に住む人々が安心して暮らせるよう、道路網の整備、交通体系の見直しに努めます。

市民の声を必ず市政に届けます

山　崎　龍太郎
(50歳・土佐山田町西本町)

格差拡大、合併後の負担増により市民の暮らし向きは悪化している。市政が防波堤となるべく政策提言を行い、また住民サービス低下と負担増を許さない立場で議会に挑みます。

税の取り方、使い方を常にチェックし、地域経済が潤う施策の推進、住民福祉の向上を目指します。

香美市の当面の課題では、中山間地域を守り育てる、子育て支援策の強化、庁舎建設および支所機能の充実、生活交通対策、環境問題等、市民の声を届けます。

地方と地方住民を守る市政実現を

大　岸　眞　弓
(54歳・土佐山田町宮ノ口)

選挙期間中、訴えた「介護保険制度の改善」や「障害者の利用料負担軽減」に力をつくします。相次ぐ社会保障の後退が、地方と地方住民を苦しめています。これからの地方議会は、国に対し、言うべきは、はっきり言い、住民を守るために行動すべきです。合併して広域になりました。支所機能の充実と交通網の整備は緊急の課題です。また憲法9条だけでなく、憲法のすべての条項が、暮らしの中に生かされるよう頑張ります。

香美市に賑わいを

依　光　美代子
(57歳・土佐山田町中野)

私は、香美市がさらに住みやすいまちへと発展するためにも、旧3町村の良いところを生かします。

住民の声に耳を傾け、行動に結びつけ子どもからお年寄りまで「安心して心豊かに暮らせる香美市」を目指します。

1.定住人口の拡大
2.子どもを安心して産み、育てられる環境づくり
3.若者の雇用の拡大
4.予防福祉の充実
5.人家の中の調整区域の見直し
6.香美市の木を経済に

豊かさと潤い　夢あるまちづくりを

中　澤　愛　水
(65歳・土佐山田町植)

香美市の持つ山林資源、水資源、人的資源を生かしながら、農林業をはじめとする産業の振興や、過疎・高齢対策の一層の充実と自主財源の確保が香美市発展と市民の福祉の向上のための大きな課題と考える。若者の働く場の確保、住環境の整備と定住人口の増加、東南海地震への防災対策も重要である。誠実・公正・迅速をモットーに「愛と水・自由と平和」をキャッチフレーズに、健康で安心安全・活気のあるまちの実現に努めていきたい。

香美市の調和ある発展を願って

西　山　　武
(63歳・土佐山田町間)

香美市の最初の選挙で議員に選ばれ、大変光栄に思うとともに、責任の重さを痛感しています。香美市の旧3町村は、それぞれ異なる環境と文化を持っています。その特性を生かした調和ある発展を推進したいと考えています。市民や地域の声を議会や行政に反映させるよう務めるとともに、今後の最重要課題である新庁舎建築問題や行財政改革および保育所改革については、香美市の将来のために、大局的立場から判断していくことが重要であると考えています。

新市のまちづくりへの抱負

片　岡　守　春

(66歳・土佐山田町南組)

市民の合意のないまま合併は強行された。香美市となり庁舎建設をはじめ消防署、保育所の建て替え等、重要な問題が山積みしている。新市のまちづくりは住民参加で進めるべきだと思う。自民党が５年以内に憲法を変えると発表した。これを絶対許してはならない。憲法を暮らしの中に生かし、平和で誰もが安心して暮らせる香美市づくりに努力する。私は市民の身近な相談相手として住民の声を議会に届けていきたい。

自然と人が共生する未来に挑戦

山　本　芳　男

(56歳・物部町神池)

長期化する物部川の上流域の河川汚濁、濁水の根源を取り除く対策に取り組まなくてはならない課題、また大変厳しい社会経済情勢ではありますが、香美市の豊かな自然と共生しながら、未来に挑戦をし、市の基本理念「輝き・やすらぎ・賑わいを築くまちづくり」のもと、地域格差のない調和の取れた夢と希望のかなえられる、香美市の基礎づくりの推進に努めてまいります。

豊かな、不安のない、まちづくり

坂　本　　節

(75歳・物部町仙頭)

市民の清新な選挙により、香美市将来の基礎づくりを担う、議会の新体制が確立された。円満融和を旨として、託された責務の完全遂行を目標に、市民の意見や要望を謙虚に受けとめ、不安や不便の解消、喜びと生きがい、希望のもてるまち、産業経済、福祉教育の充実発展に、香美市全域の資源環境の活用を図り、安全第一防災に努め、事件や事故のない、安心して住めるまちづくりに、市政の目的は、市民の思いをいかに実現するかであると思います。

やさしさと思いやりの市政を！

山　崎　晃　子

(50歳・物部町山崎)

私は、これまで障害者や高齢者の「介護・福祉・医療」の仕事に携わってきました。

その中で、現場で働く仲間や利用者から「さまざまな声や思い」を耳にしています。その“切実な願い”を市議会の現場に届け、市政に反映できるように一生懸命頑張ります。

また、私たち「くらしと福祉を守る会」は、市民の皆さんの身近な相談窓口として、今後も活動を続けたいと思います。

今後とも何とぞよろしくお願いします。

香美市の発展についての思い

石　川　彰　宏

(54歳・香北町吉野)

選挙期間中、香美市の全域をまわって思ったことは、香美市の基本理念である。輝き・やすらぎ・にぎわいをみんなで築くまちづくり達成のためには、山間地域との格差是正をしなくてはならないと思うし、中山間地域が大半をしめている香美市においては、中山間地域の発展が大きな鍵をにぎっていると思い、農林業議員として一次産業に力を入れたいと思っている。

信頼され期待される市議会へ

黒　岩　　徹

(57歳・香北町梅久保)

合併後、初の市議会議員選挙で議員となり、香美市を夢と希望あるものにするためにとの意気込みであります。そのためには期待され、信頼に応える市議会でなければなりません。議会はきめ細かく多様な意見を吸い上げ、議会での審議等を通じ施策に反映させてこそ信頼される市議会と考えます。私は、日常の生活の中でも常に住民の意向の把握に努め、入念な調査活動で会議に臨み、徹底した論議をもって職責をまっとうする決意であります。

住民参加の協働のまちづくりを

島岡信彦
(52歳・土佐山田町宝町)

災害に強いまちづくり。生涯学習および生涯スポーツの充実、青少年の健全育成を柱に、住民の声や生活を踏まえ、住民に身近な市政となるような議員活動を行っていきます。「土佐山田・香北・物部」地域のそれぞれが特色を生かしながら香美市として発展していくために、住民参加による共鳴協働のまちづくりを行動力を持って取り組んでいきます。

市民と協力協働し　推進する市政を

西村芳成
(66歳・土佐山田町前山)

香美市は、中山間地の広い市で、全面積の約９割が森林であります。この緑豊かな資源と農地は市の大きな財産であり、農林業の推進や商工業の発展につとめ、道路網の建設と整備、住宅環境の整備や山林の崩壊個所の復旧整備、さらに少子高齢化に向けた地域福祉の確立、学校教育・生涯学習や社会教育の充実を図り、香美市の将来を、市民と協力・協働し、公平で公正な住民自治の確立を推進し、各地域の均衡ある発展につとめてまいります。

合併でよいことはなにもない

久保信彦
(66歳・香北町永野)

住民の参加者からは、合併しても何もよいことはない。住民の顔の見えない状況になっている。サービスは高く住民負担は低くなっていない。何をするにしても結局は遠い所は市役所に行かないと用を足せなくなり不便。住民自治がなくなった。住民の声を行政に上げる機会がなくなった。合併で良いことはないと感じている人が多い。

私は支所機能の充実に力をいれていかなければと選挙を通じて特に感じた。

ともに築こう明日のまちづくり

千頭洋一
(63歳・香北町美良布)

市民が夢と希望のある明るく生き生きとしたまちづくり、地域づくりの実現に情熱と誠意をもって香美市の発展を目指します。

◎若者が定住し安心して子育てができる環境整備と、高齢化社会の対応および健康施策の充実
◎産業基盤整備の更なる充実
◎文化・芸術の発信等の政策を市民参画型で積極的に推進し活力ある地域づくりの実現に邁進(まいしん)したいと考えています。

市全体のつながりづくりを目指して

有元和哉
(27歳・土佐山田町神母ノ木)

地方において、行政運営の厳しい時代を迎えており、市全体のシステムの最適化が必要となっています。行政にとって必要なこと、そして市民にも必要なことを真剣に考え、行政には最大限の努力と、市民には可能な努力が行えるようさまざまな提案、活動をしていきたいと思います。新人議員として、不慣れなことも多いですが、徐々に慣れながら、県内のＮＰＯやまちづくりの経験を生かし、市民の皆さまのために精一杯頑張りたいです。

市政は公平・公正・明らかに

大石綏子
(61歳・香北町美良布)

皆さまとともに「健康が第一」を合言葉に、「子どもの笑顔が広がるまち」「みんながいきいきと暮らせるまち」「お年寄りや障害のある方が安全安心に暮らせるまち」を基本理念に、香美市の発展に向け取り組みます。

川上から川下まで、個性ある調和のとれたまちづくりを、そして、私の夢である「全町公園化」を提唱し、住む人にも訪れた人にも感性が感じられるまちづくりを目指したいと思います。